

ENO KI

えのき

編集・発行

榎町地域センター管理運営委員会 広報部

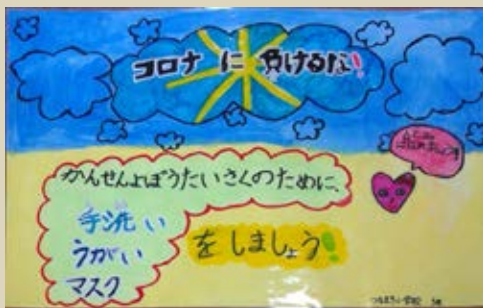
〒162-0042 新宿区早稲田町85

☎ 03-3202-8585

鶴巻小学校 3年生



「わが町つるまき」コロナに負けない!



鶴巻小学校の児童は、新型コロナウイルスの蔓延により、自粛生活を余儀なくされている地域の人達を励まし、自分達も頑張っているという趣旨で『コロナに負けない!』をスローガンにして、ポスターをつくりました。それを、学区の五町会(鶴巻東・西・南・北・山吹)に依頼し、掲示板に貼っていただき、鶴巻小学校の児童と地域の皆様と連携して、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組んでいく決意を示しました。

あいさつなどの声かけで、いつも応援してくれている大好きな地域の人たち。コロナで、ソーシャルディスタンスを取らなければいけないけれど、地域の人たちと心はつながっているという思いを伝えたくて、ポスターをつくりました。

中里町町会とは、江戸川橋通りに接する面積0.02km²、約350世帯、人口684人、町会加入率は96%です。町内には、神社・仏閣・史跡・商店街もない小さな町です。

ここでは、先輩方の努力と、住民の理解・協力的一端を紐解いてみたいと思います。

古きは1646年(正保3年、徳川三代將軍家光)には済松寺領となり、1745年(延享2年徳川家重が九代將軍になった年)に町奉行支配となり、牛込中里村が起立、1872年(明治5年)頃までは、赤城下町・天神町・東横町・横町・山吹町を含めて牛込中里村と呼ばれていたと思われます。

1878年(明治11年)東京府牛込区に所属、1911年(明治44年)牛込中里町が「牛込」の冠称を外し中里町となり、1943年(昭和18年7月1日)東京都制のもと東京府改め東京都牛込区中里町となり、1947年(昭和22年3月15日)四谷区・牛込区・淀橋区を統合し新宿区が成立、現在の東京都新宿区中里町となりました。

町名の由来は不詳とされていますが、兵庫町(のちの牛込肴町、現在の神楽坂五丁目)と早稲田村の中間に位置したことから「中里町」と呼ばれたようです。

町会組織も戦前、戦中の変遷を経て、1953年(昭和28年5月)「町を愛する有志相寄り、町内の親睦と福利増進を目的」として、町会発足の準備委員会を結成。わずか3ヶ月後の同年8月3日、横町特別出張所2階(現横町子ども家庭支援センター)に於いて、午後七時創立総会を開催。午後10時20分終了。当時の町会費は、一口50円と書き残されています。



大人神輿お披露目 昭和56年9月17日

また、町会創立1ヶ月半後の赤城神社祭礼には、子どもたちのため樽神輿を作り、2年後の昭和30年5月の総会で、子ども神輿(一尺三寸破風造30万円)・太鼓・山車の購入を決定、同年9月15日、新調の神輿・山車・太鼓の引き取りにタクシィ3台、トラック1台、オート三輪2台に分乗して出発。午後4時40分赤城神社にてお祓いを済ませ、町内を初練りしました。遅れること昭和56年9月17日の祭礼に、待望の大人神輿(一尺五寸、350万円)購入、同時に子ども神輿修繕(80万円)の記録が残っています。

昭和32年6月には、青少年部を発足させ、部会費の資金調達のため毎月第一日曜日を資源回収日と定め、同年よりレクリエーションを開始、バス2台で稲毛八津遊園地に海水浴を実施、時にはバス3台の年もあり親睦を深め、楽しい行楽行事だったようです。

時が移り少子化となり参加者も減少、平成3年を最後にバスを利用した遠出は取りやめ、町内の私道(通称ふれあいロード)を利用した、お花見・餅つき・縁日・防災のタベなどのふれあい事業に変わっています。

平成9年、町内の約5分の2の面積を所有する地主が土地を手放し、その跡地に166世帯のマンションが建設され、住民が入り替わり、新たなコミュニティを結び直す事となりました。建設当初から合意のもと町会加入は約されていまして、地縁団体による法人格を取得し、マンション管理組合と地道な話し合いを重ね、町内みんな顔見知り」を合言葉に、総会資料・お知らせ等きめ細やかに全戸配布(管理組合にボスティングの許可を得)10年経過する頃には、町会活動に理解を戴き、友好的な計らいにより、町会とのパイプ役として、理事1名を「町会担当」として町会の理事会に加わって戴き、その後役員や部会のリーダー、サブリーダーにも参画を得て円滑な運営を推進しています。



町内恒例のお花見風景

平成11年より、町会の喫緊の課題解決のために、防災・防犯・福祉・環境に目を向けた活動を位置づけました。本格的な高齢者社会に備え車椅子の購入(町会所有では区内で第一号となりました)。

防災・防犯面では、防災倉庫脇の古井戸を活用し、初期消火や災害時に「手押しポンプ」を設置し、令和2年3月防犯カメラ4基を設置しています。



古井戸活用の
防災用手押しポンプ

環境面では、平成21年5月から、エコキャップ運動を町内で勧め、捨てればゴミ、一人ひとりの心がけにより、医療支援・障がい者支援・子どもたちの環境学習支援と、CO₂の発生量の削減で地球温暖化の防止を呼びかけ、令和3年3月までに25回提供(一回45ℓ入り)に78袋、これまでの総量は1773kgとなりました。ささやかな行動で次世代に豊かな地球をバトンタッチしたいと考えます。



平成21年よりエコキャップ運動



コロナ感染防止対策
中里町独自の啓発用ポスター

早稲田小学校春季運動会



早稲田小学校春季運動会は、緊急事態宣言延長のため、5月29日(土)から6月1日(火)へ延期となりました。感染拡大防止のため、緊急事態宣言下での保護者参観はできませんでしたが、無事終えることができました。早稲田小学校の教職員に、運動会の様子をレポートしてもらいました。

【4年】

手作りの太鼓の音が全員揃った時は、気持ちが引き締まります。4年生の心が一つに重なった踊りは、胸にじんとききました。

【5年】

音は太鼓のみ。リズムを聞いて呼吸を合わせる難しい御神楽を見事に踊り切りました!最後の決め姿は神々しかったです。

【6年】

どの子も、練習の時からノリノリ!黒の法被姿で気分も高揚し、力強く、勇ましい踊りで、さすが早稲田小学校の6年生!という姿でした。

【1年】

小学生になって初めてのダンス!練習の時から、先生の話をしっかり聞いて、張り切って踊る姿は、とても可愛かったです。

【2年】

旗を持って、堂々と入場する姿は、ちょっぴりお兄さん・お姉さんの気分。隊形移動もバッチリ決まりました。

【3年】

初めて「和」の表現に取り組みました。花笠の花と鈴は全部自分たちで付けました。びしっと決まるポーズもさすがです。

早稲田小学校では各学年の演目を動画に収め、保護者対象にアップ動画とルービ動画の2種類の動画を配信しました。このような状況でも演目に全力を出しきる子どもたち、それは立派で、本場であれば地域の皆さんにも観ていただきたかったです。静止画にはなりませんが、運動会の晴れ舞台をお届けします。これもひとつのリモート観覧!

子どもたちの活躍を参観できる希望はまだあります。今年度、早稲田小学校では、運動会を春【表現】と秋【競技】の2回に分けて実施する予定だからです。感染状況が落ち着けば、秋には子どもたちが頑張る姿を直接見ることができかもしれませんが、コロナ警戒下において私たちにできる対策をしていきますよ。【秋の運動会を有観客で迎える】という目標を、日々の努力の支えにしていくのはいかがでしょうか?



4年生 エイサー
青空の下、南国気分で!



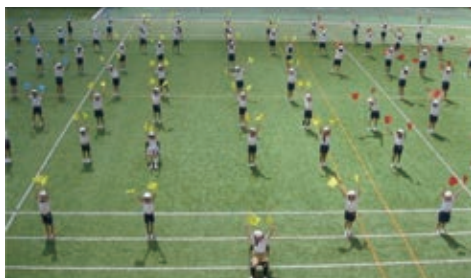
5年生 御神楽
みんなで呼吸を合わせて!



6年生 ソーラン節
さすがの大迫力!!



1年生 リズムダンス(ジャロハコモマエ)
ボンボンをつけて華やかに!



2年生 リズムダンス(ジャンプ)
フォーメーションも
ばっちりです!



3年生 花笠音頭
手作りの花笠を掲げて!

江戸川小学校 「おやじの会」



江戸川小学校には「おやじの会」という活動グループがあります。構成メンバーは江戸川小の児童およびOG・OBの「おやじ」達です。現状、学校や地域行事の活動への参加は女性の保護者に偏りがちです。しかし「おやじ」達も学校・地域の行事に貢献したいという強い思いがありました。その思いを実際の活動につなげる仕組みとして2017年におやじの会は発足しました。

おやじの会はPTAとは指揮系統も予算も独立した組織にしています。また活動のモットーは「できるときに」「できる人たちが」「できることをする」というものです。この仕組みを取り入れることで、遊撃部隊として機動的な活動ができますし、加えて活動範囲を逆に幅広くすることにもつながっています。

おやじの会の主な活動は「学校・PTA・地域行事の支援活動（設営・撤去・警備・神輿・餅つきなど」「男子」が必要な活動など）、「地域の防災支援活動」、「独自行事の企画・運営」に大別されます。

ここでは三つ目の独自行事を二つほどご紹介します。

一つは冬に行う天体観測イベントです。成蹊高校の天文気象部の協力のもと、天体望遠鏡を小学校の屋上に設置し、本格的な天体観測を児童に体験してもらいます。また冬の寒い時期でもあるので、観測後にはおやじの会お手製の豚汁を参加者に振舞っています。



江戸川小 おやじの会 会長 安井謙介

メールアドレス edosho oyajinokai@gmail.com

もう一つが児童に大人気の「逃走中」というイベントです。テレビ番組の企画としてご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、ようは、おやじ対子ども達の壮絶な本気の鬼ごっこです。黒服をまとったおやじ達が限られた体力のもと逃げ回る児童を必死で追いかけるというイベントで、児童から絶大な人気を誇っています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響でほとんどの活動を自粛せざるをえませんでした。が、今年度は「非接触」「密回避」を徹底した独自行事（非接触の水鉄砲大会など）を企画中です。

江戸川小おやじの会は、学校・PTA・地域の行事運営の「かゆいところに手が届く」部隊として活動しています。地域の皆様も行事の際には江戸川小おやじの会にぜひお声がけください。いい仕事しますよ！

高齢者クラブでいきいき元気な暮らし

33

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします。

新型コロナウイルス感染症防止対策等により各クラブでの活動は、非常に制限される状況が続いていると思います。

1 令和3年4月現在、榎地区には

19の高齢者クラブが活動しています。

（左表参照）

皆さんもお近くのクラブに入会して生活に綾を添えてみませんか。

近隣に住まう仲間としてお互いに楽しく助け合って活動しましょう。

●入会資格 区内在住の58歳以上の方

●入会の相談先

・区役所 福祉部地域包括ケア推進課

・高齢者生きがい係

・近隣の高齢者クラブ役員、会員

（ご不明の場合には、お近くの町会役員にお問い合わせ下さい）

2 榎町地区 高齢者クラブ一覧表

榎地区高齢者クラブ一覧表

No.	クラブ名	対象地域	No.	クラブ名	対象地域
22	榎町友の会	榎町、東榎町	34	第一友鶴会	鶴巻町東町会東部
23	原一あゆみ会	原町一丁目	35	第二友鶴会	鶴巻町東町会西部
24	水の原クラブ	原町三丁目	125	薬主寺シニアズクラブ*	市谷薬主寺町（クラブ名変更）
25	白寿会	喜久井町	127	牛込心友会	天神町
27	弁天町和老クラブ	弁天町	130	あかぎ友の会	赤城下町
29	山吹会	山吹町	141	原二わらく会	原町二丁目
30	早稲田クラブ	馬場下町、早稲田町	147	新宿区盲人六ツ星会	新宿区全域
31	西鶴クラブ	鶴巻町西町会	149	柳町すみれ会	市谷柳町
32	早稲田長寿会	鶴巻町南町会	157	早南クラブ	早稲田南町
33	早稲田永楽会	鶴巻町北町会			

（資料：新宿区高齢者クラブ連合会資料より抜粋）

令和3年4月現在

老人クラブ（高齢者クラブ）
100万人会員増強運動展開中
老人クラブの魅力

「会員になると、いきいきとした高齢期の生活（シニアライフ）が実現できます。」

① 地域に新しい仲間ができます。

② 知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができます。

③ 健康の保持・増進になります。

④ 社会活動への参画と貢献ができます。

⑤ 心の安らぎ、充実感が得られます。

— あなたの参加で楽しいクラブを —

（公益社団法人 東京都老人クラブ連合会

広報誌「都老連」より）

「各クラブでは随時、新入会員を募集しています。」

新会長あいさつ

榎町地域センター管理運営委員会の会長をお受けする事になりました山吹町の安井彰と申します。当センター開館時より18年間企画部長として、落語会・カラオケ大会・ガーデニング講座・ミニ音楽会・料理教室・魚のおろし方教室・包丁の研ぎ方教室・囲碁教室・ユニカール教室等、色々な事業を行い、センターの周知と利用の促進の為、そして地域コミュニティの核となるように努めて参りました。

現在コロナ禍、当センターがコロナのワクチン接種会場として活用して頂く事もセンターの大事な役割と思っております。一日も早くコロナが終息して又、日常のセンターの業務に戻る事、そして来年開館20周年を迎え、皆様に愛され、利用頂ける地域センターとして微力ながら努力致しますのでご支援、ご協力をお願い致します。



新所長あいさつ

地域の皆様、こんにちは。4月から榎町特別出張所長に就任しました田中栄成（たなか ひでなり）と申します。

3月までは、環境清掃部環境対策課環境計画係長として、区の温暖化対策に取り組んでおり、榎町地区の皆様とは、みどりのカーテン育成や打ち水等で世話になっておりました。

その前は、危機管理課に11年間在籍し、榎町地区の担当もしておりましたので、各校の避難所運営管理訓練等でお目にかかった方々も多くいらっしゃるかと思えます。

榎町地区は、特に「環境」や「防災」面に熱心に取り組まれている地区だと認識しており、そうした地域に着任できたことは縁を感じています。

また、私は、若松管内の余丁町が地元です。ここ榎町地区と似た雰囲気があり、そうした面からも着任できてよかったと考えています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な「コミュニティ活動の実施が難しい状況にある今、「広報えのき」を通じて皆様に挨拶できる機会をいただけたことに大変感謝します。

地域の皆様と一緒に、より良いまちづくりに取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

新職員あいさつ

この4月から榎町特別出張所に新規配属となりました、田中舞と申します。出張所で働き始めて2か月ほどが経ち、榎町地区の皆様の暖かさに触れ、この町で働く事ができて良かったと日々感じています。

夏目漱石が生まれ育ったこの地域は印刷業や公園の活気、そして神社や寺院の落ち着いた雰囲気といった様々な魅力を併せ持つ場所です。こうした魅力をこれから更に見つけていきたいと思っております。

まだまだ勉強中の身ではありますが、少しでも早く地域の皆様のお力になる事ができるよう、仕事に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



榎町地域センターからのお知らせ

榎町地域センター管理運営委員会総会

令和3年度「榎町地域センター管理運営委員会定期総会」は新型コロナウイルス感染症の影響により書面議決といたしました。

令和2年度事業報告、決算報告、監査報告、令和3年度事業計画案、同予算案、榎町地域センター管理運営委員会役員の承認について、および報告「榎町地域センター管理運営委員会事務局職員給与規定の一部改正」が全て、承認されました。

令和3年度から3年間の管理運営委員会役員は左記の委員が就任いたします。

会長	安井 彰
副会長	佐藤 光春
副会長	吉澤 照雄
監事	深井 三洋子
監事	北原 聖子
会計	石川 ハル
会計	中野 晴夫
理事	岡戸 和夫
理事	土屋 勝
企画部長	夏山 勇
広報部長	廣井 伸行

えのき文芸

短歌



「お家帰って寛ぎたい」と四才の孫娘

「エ、何て言った？」ジイジは絶句す

居酒屋の帰りに仰ぐ中天の月

施設の妻にや、後ろめたし

青木 久彌

親子ずれ赤信号を無視してく

渡っていいと子に教えるか

奥瀬 イチ

暑さ故ねむれぬままに時を告ぐ

柱時計の打つ音かぞう

加藤千代子

繁葉のおく黄の色たたす

夏蜜柑にわか雨の雨粒とどむ

金成 光祥

妙義龍ベテランの技と解説者

うまいと言ってさすがと誉める

中村 道雄

俳句



世の憂さを忘れ花見の人の中

甚平の似合ふ齡の夫と居て

加藤 千代子

声と汗揃い半纏夏祭り

雷神が太鼓を鳴らしコロナ撃つ

滝口 泉

川柳



認知症にならぬがせめての心遣ひ

軍国少年無神論者の卒翁となる

青木 久彌

みそ汁が佃煮になり大あわて

散歩みちいつもの場所でひとやすみ

奥瀬 イチ

マンボウは水族館も混むけどな

どうなるのコロナと五輪攻めぎ合い

管野あきら

コロナ禍も浮世の義理と耐え忍ぶ

酒は有るつまみも有るが休肝日

小山 一湖

参道の歩み人生振り返る

年寄のプチ旅記す御朱印帳

滝口 泉

戦前は黙って食えと教えられ

身の丈の暮らしに慣れて欲が出た

田実 孜

セロトニン出過ぎわが古女房十八才

近藤 詔治

広報部からのお知らせ

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供など榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は『秋』、川柳は自由吟です。投稿はハガキがファックスに、俳句川柳の別を明記の上、9月10日(金)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
TEL(3202)8585
FAX(3202)2478

榎地区協議会委員募集

榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募

榎地区協議会担当(榎町特別出張所内)まで
〒162-0042
新宿区早稲田町85
榎町特別出張所内
TEL(3202)2461
FAX(3202)2476